

# ボーカル インストラクター

「USボーカル教室」勤務  
小笠原梨恵さん(25歳)



この仕事はサービス業。  
楽しく過ごしてもらう  
ために笑顔で接します

できないと思っていた仕事。  
スクールで身に付けた  
スキルを活かして指導を

昔から歌うことは好きでしたが、仕事にしようと思ったことは一度もありませんでした。というより、歌う仕事なんて特別な人しかできないと思っていたんです。このスクールは雑誌で見つけて、「通信講座なら通わなくて済むからラクチン」という安易な理由で選択(笑)。プロ養成コースに入学したのは、通信添削の封筒にチラシが入っていたから。プロという道が目の前に開けているんだと知って、すぐに飛び込みました。

この仕事を始めて感じたのは、インストラクターはサービス業なんだという。こと。指導しているから、先生だから、「偉い」と思っている人もいられないけど、それは大きな勘違いなんですよね。カフェのスタッフと同じように、お客様(生徒さん)に気分よく過ごしてもらうことが大切なんです。

でも、「楽しくしなきゃ」なんて無理に考えなくても、自然と笑顔でレッスンできるのがこのスクールの特徴。実は私、学生時代は内気で声も小さかったんです。それがボーカルレッスンを始めてから変わり、インストラクターになっただけにはフルモデルチェンジ！歌を歌うとホントに表情が変わりますよ。私はここで手に入れた笑顔を活かして、これからも愉快なレッスンを心がけるつもりです。

## PROFILE

デスクワーク系OLからの転職。働きながら通信講座でトレーニングを行う。「プロ」という道が目前に開けていることを知り、修了後、プロ養成コースへ入学。現在は、自身が同コースのインストラクター。

## 小笠原さんの主な仕事内容！

### レッスンの合間に通信添削も



通信講座の受講生から送られてきたテープを聴き、現在のレベルをチェック。対策を添削用紙に書き込んでから返信する。

### 個別の状況をカルテに記入する



レッスン終了後、進行状況や悩んでいるポイントを個別のカルテに記入しておく。後日のレッスンのための重要な資料。

### 楽しさ優先のグループレッスン



個人レッスンに対して、こちらには趣味として楽しく歌を学びたい生徒が多い。会話を交えながら、和やかなムードで。

### マンツーマン指導でプロを養成



個人レッスンを選択する生徒の多くはプロ志望者。彼らの手本として、プロインストラクターらしい態度で接する。

### 丁寧な電話応対で生徒を獲得



スクールへの問い合わせ電話に対応することも仕事の一部。対応がうまくいけば、新しい受講生を獲得することに繋がる。

5

4

3

2

1

### スキルの裏側その5

#### わかりやすい文章で理解させる

直接言葉で交わすことができない添削指導では、わかりやすい文章を書くことが必須。「お腹に風船が入っているような感覚で」など、自分なりの言葉で紡ぎ出す文章があるとお客様へ。

ルーツは

趣味



「私は本を読むのが好きで、いつも文庫本を携帯しています。そのおかげか、言葉を考えるのが楽しく、文を書く苦勞をあまり感じていません」

### スキルの裏側その4

#### カルテへの記入は集中力を持って

忘れないうちに記入できるよう、短時間で一気に書き上げるのがベスト。他の事務に気を取られることなく、集中してやり遂げるのが大事。後のレッスンに活かす資料なので丁寧に書く。

ルーツは

前職



「大学でノートを取ることを嫌がる人もいますが、私は好きでした。目の前のことに集中して書き続けるんです。ちなみに学部は経済でした」

### スキルの裏側その3

#### 輝くような笑顔で場を和ませる

楽しませるために、まず自分が楽しむことが大前提。インストラクターがニコニコ笑顔で指導することで、教室の空気が和んでいい雰囲気。心が解放されれば伸びやかに歌が歌えるはず。

ルーツは

大学の講義



「スクールに通ってから、「よく笑うようになったね」と言われるようになりました。歌を歌うと本当に表情が明るく変わっていくんですよ」

### スキルの裏側その2

#### 常識ある態度で信頼を得る

指導能力はもとより、挨拶や言葉遣いなどの一般的な常識がプロには不可欠。生徒と接する際、非常識な言動は避ける。信用を得るためには、社会人として認められることが大切なのだ。

ルーツは

スクール



「OLを経験したことで、社会人としてのマナーが身に付いたと思います。一般常識がないと、ちょっと信用できない人だと思われちゃいますね」

### スキルの裏側その1

#### 不安を払拭する言葉遣いと対応を

わからないこと、不安なことがあるからこそ、電話による問い合わせをしていることを頭に入れておく。まずは丁寧な言葉遣いで信頼を得て、明るくハキハキした対応で不安を解消する。

ルーツは

バイト



「テレフォンアポイントメントのバイトをした時に、正しい言葉遣いをたたき込まれました。電話では声を少し高めにするとうまくいいます」